



しじゅうから

福島市小鳥の森通信2017年9月号 No.381

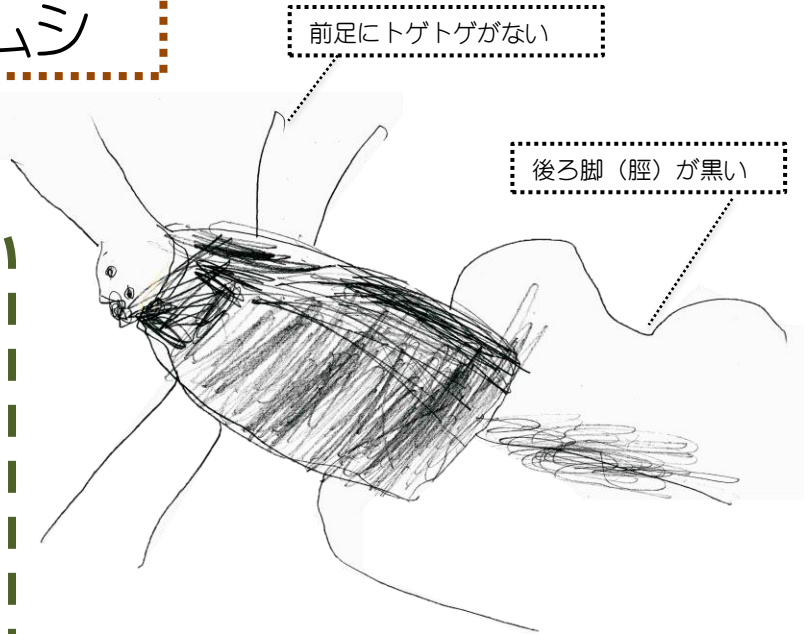
小鳥の森で観察してみよう 70

アシグロツユムシ

ツユムシ科

大きさ：30～35mm
(頭から翅(はね)の
先まで)

生態：7月～10月ごろの日中
に、林の木の上や草
むらを活発(かっばつ)
に飛び回り、植物を食
べる。



かばくらあやね (4才)

今回の絵は、かばくらあやねさんが描いてくれました。

9月の自然予報

9月の小鳥の森では、野草の花を楽しむことができ
るでしょう。昨年の記録を見てみると、9月前半
ではツルリンドウやキバナアキギリ、ツリフネソ
ウ。中旬はヒメキンミズヒキやヒガンバナなどが
咲いていました。

ツリフネソウやキバナアキギリの花はちょっと
不思議な形をしています。この形はマルハナバ
チの仲間に蜜をあげて、その代わりに効率的に花
粉を運んでもらうためにとっても重要な形なのです。

花だけでなく、花に集まる昆虫などを観察する
のもおすすめです。

秋の花を探しに
小鳥の森へいらし
てみてはいかが
でしょうか。

2016/9/1	ツルリンドウ
2016/9/3	キバナアキギリ
2016/9/7	ツリフネソウ
2016/9/14	ヒメキンミズヒキ
2016/9/17	ヒガンバナ

キバナアキギリ→



ツリフネソウ ↓



8月の自然

8月の小鳥の森は、セミの鳴き声が響いていました。大型のアブラゼミやミンミンゼミが競い合って鳴くと、にぎやかと言うより、やかましいほどの音量になります。

さて、「カナカナ…」と高い音で朝や夕方に鳴くヒグラシの声を聞くと、少しさびしい気持ちになりませんか。そのせいか、夏が終わり、秋の涼しさが訪れた頃に鳴き始めると思っている方も多いと思います。

ところが、実際には、早いものは7月上旬頃から羽化を始めます。みなさんが屋内にいる薄暗い時間帯に鳴くので、聞くことが少ないのかもしれませんが。今年の8月は雨が多かったせいか、昼間でも、雨上がりのちょっと薄暗い時に鳴き声を聞くことができました。



← ヒグラシ

アブラゼミ ↓



小鳥の森スタッフだより

オスのミツバチの運命

花の蜜や花粉を集めるミツバチ（働き蜂）が、みんなメスなのを知っていますか？鋭い針は卵を産むための管が変化したものなのです。

では、オスのミツバチはどんな生活をしているのでしょうか。普段は働かず、姉妹達が運んでくれる蜜や花粉を食べています。そのためか、英語では「drone bee（なまけ蜂）」とちょっと残念な呼び名をつけられています。ただ一つの大事な役目は、巣から出て別の群の女王蜂と交尾することです。役目を果たしたオスはすぐに死んでしましますが、失敗したオスはまた巣に戻ってきます。しかし、花の時期が終わり巣に貯めた食料が少なくなってくると、働き蜂から強制的に追い出され一生を終えます。

オスの特徴は一回り大きな体と目です。また卵を産まないの針がなく刺すことができません。



(スタッフ くろさわさちこ)

小鳥の森出前講座のご案内

小鳥の森では、福島市内の学校や学習センターなど様々な団体向けに出前講座を実施しています。

自然素材を用いた工作や、森のお話など色々な講座メニューを用意しております。季節や人数、活動時間に合わせてプログラムを組み合わせたり、調整したりすることもできます。（クラフトの材料等は放射線量の低い地域や県外からの寄付で頂いたものを使用しています。）

受付は先着順に行っていますので、希望日の2週間前までに電話かFAXでお申し込みください。（※既に希望の日程に予約が入っている場合は対応できない事もありますので、ご了承下さい。）



出前講座の様子

※福島市小鳥の森では色々なイベントを開催しています。
詳しくはネイチャーセンターまでお気軽にお問い合わせ下さい。

*小鳥の森ホームページで小鳥の森スタッフが独自に測定した環境放射線量を公開しています。

福島市小鳥の森（ネイチャーセンター） 開館時間：午前8時30分～午後5時

《入場無料》休館日：毎週月曜日（祝祭日の時はその翌日）

〒960-8202 福島市山口字宮脇98 Tel: 024-531-8411 fax: 024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.f-kotorinomori.org/>

小鳥の森通信「しじゅうから」2017年9月号No.381 / 企画・発行：福島市小鳥の森 / 日本野鳥の会ふくしま